

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のでみの園 放課後等デイサービス れいんぼ〜		
○保護者評価実施期間	8年 1月 18日		8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	8年 1月 18日		8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に合わせプログラムやスケジュールを作成しています。利用者の生活に近い環境の中でSSTに取り組み、社会性や自立心を育てています。小集団の活動の中でコミュニケーションや自尊心を高めていきます。	公共交通機関や公共施設などを使い、適切な対応の仕方などが学べます。買い物学習を体験し、購入したいものを「選択する力」を養い、わからないことは「聞く」「尋ねる」力を育てていきます。また、「収入・支出・貯金」など生活に密着した活動を取り入れ、お金に関心を持ち、大切さを学ぶことができます。	行動範囲を広げ、利用者たちの経験値を上げていける活動を提供できるように努めます。
2	法人内に各専門職のスタッフが配置されており、利用者の発達や支援について相談をしたり情報を共有することができます。	保護者向けの勉強会やペアレントトレーニングを専門職と協力しながら開催し、利用者の特性や具体的な対応など伝え、子育て支援のサポートに努めています。	職員研修を行い、ひとり一人が知識やスキルを習得し能力向上に努めていきたいと思っています。
3	保育所等訪問支援の担当者や心理士とケース会議を行うなど、他機関との連携を図っています。	担当者会議やモニタリング以外でも、意識的に相談事業所の担当者と連絡を取り、利用者の利用状況や学校での様子を伝え共通理解を深めています。	卒業後の生活基盤について関係機関と連携を取り合い、福祉サービスについて利用者や保護者に伝えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内の駐車場が狭く、保護者に協力を得て、迎え時は時間を設定し時間差で駐車場を利用していただいています。また、保護者向けの勉強会やペアレントトレーニングに参加される場合は、参加人数に応じて近隣の駐車場を利用していただくことがあります。	送迎時に保護者との連絡事項や情報共有が難しく、職員の配置や対応の工夫が必要だと考えます。参加人数に応じて、会場を変更し駐車場の確保に努めていくことが必要だと考えます。また、予め保護者様に参加人数を伝え、近隣の駐車場の利用に協力して頂くことも必要だと考えます。	実績や活動の様子など伝達事項は先に済ませ、利用者がスムーズに帰宅できるよう配慮していきたいと思っています。また、必要に応じて電話での対応を行っています。保護者支援に事前予約をしていただき、会場や駐車場の状況を伝えていきたいと思っています。また、駐車場が満車になった時は、近隣の駐車場への誘導を行っています。
2	学童や他の放課後等デイサービスとの交流の機会がない。	他の事業所を併用していたり、地域での習い事などを行っている利用者が多いため、交流の機会は作りませんでした。	現在、地域や高崎市のイベントに参加したり、ボランティア活動に参加させて頂いています。また、地域の児童とは公園で遊び、交流を深めています。これからも交流の機会を増やし、いろいろな体験ができるよう図っていききたいと思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス れいんぼ～

公表日 2026年3月13日

利用児童数

31名

回収数

26

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	1	0		子どもたちが活動するスペースは十分に確保できています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	0	1	身体を動かす部屋は開放的。全体的に、余計なものが無く、安全だと思います。	室内には段差が無くフラットなっています。階段やトイレには手すりを設置。また、障害者用トイレやエレベーターも設置しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2	0	1	勉強をする部屋は個室ようになって 遠く集中できるようです。	活動や人数に合わせ部屋を分けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	0	0	0	子どものことを必ず肯定して下さるので、親が悲しい思いをせず安心して利用できます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	親が気づかないことを、スタッフが教えてくれたりアドバイスも貰える。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	0	毎回、子どものスケジュールに記入。 色々な製作や運動、SSTがいつも楽しそうです。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	10	5	時々、公園に散歩に行くことがあります。	放課後等デイサービスや学童クラブ等を併用している利用者が多いため、特別に交流の機会を設けてはいませんが、地域の児童と交流する機会を設けています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	0	0	0	極め細かい親切な勉強会です。	年間10回、勉強会・ペアレントトレーニングを開催しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26	0	0	0	親が意識していなかったことも気づいていただき、ありがたいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	0	0	0	毎回放課後デイサービスを利用している時の子どもの様子を共有。助言を頂けるので助かります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0	ひとり一人の子どもたちに寄り添って、接していただいている印象です。子どものいろいろな長所に気づいて頂けます。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	5	1	6	兄弟の支援に関してはわかりません。 (兄弟がいないため)	勉強会やペアレントトレーニングを開催し、保護者同士の交流が図れるようにしています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	0	0	子どもの何気ない相談にも迅速に対応して頂き、保護者へ親身になって話をしてください。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0	毎回、丁寧な申し送りをしてくださいませ。アドバイスも頂けありがたいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3	0	0		れいんぼ～通信や毎月の活動内容を配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	0	0	1		年に4回、避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	先生方皆さま感じが良いです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	4	0	0	いつも楽しかったことを子どもが話してくれます。毎回いろいろなプログラムを用意して下さり、とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	願うならば通い続けたいです。親子共に悩みに寄り添って下さり、本当に助かっています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス れいんぼ～				公表日	2026年 3月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	個別対応が必要な利用者がある時間帯の支援やプログラムの工夫をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	毎日、活動報告を行い、職員が情報を共有し支援できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者の意見、評価を今後の支援に活かせるよう職員で検討し、活動内容や周知の方法などの改善を図りました。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員からの意見は検討し、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	モニタリングやアセスメントを基に、職員で話し合いを行い、個別支援計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	アセスメントツールとしてVineland-II、感覚プロファイルなどの検査を取り入れています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	1年の計画から月案や週案を立て、子どもの興味関心のあるプログラムを取り入れています。また子どもたちからのリクエストや目標なども取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	朝のミーティング、帰りの報告（支援の振り返り）を全員で行い、職員間で情報共有を行い支援に繋げています。また、必要に応じてケース会議を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	記録システムを活用し、職員が情報共有できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	モニタリング、アセスメントを行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	利用開始前の会議や関係者を集めた担当者会議などを行い、利用者の情報を共有し支援を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		卒業後、福祉サービスについての情報を提供し、利用者や保護者が見通しを持ち生活できるよう丁寧に伝えていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	地域の児童と遊ぶ機会を作り、交流時間を増やしています。	放課後等デイサービスや学童クラブ等と併用している方が多いため特別に交流の機会を設けていませんが、機会があれば参加していきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	来所時に学校や家庭での様子を聞き、お迎えの時に活動内容や様子を伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	通信で情報を提供し、年10回勉強会やペアレントトレーニングを開催しています。	配布時期を早めに行っていきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者会はありませんが、勉強会やペアレントトレーニングを開催し、保護者同士の交流が図れるようにしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	れいんぼ～通信や毎月活動内容を配布し、保護者や利用者に必要な情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	事業所からの発信で、地域との交流を図ることはありませんが、法人内で栽培しているしいたげ販売の手伝いや地域のイベントに参加するなど、地域の人たちと触れ合える機会を大切にしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーシートを使い、保護者と話し合いを設け、検査結果や除去すべき食べ物などについて共通理解をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	園内外の研修に参加し、虐待防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	個別支援計画に記載し保護者様に説明をしています。		